



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

第35回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2016年6月17日(金) 16:30~18:30

講師:多賀太(関西大学文学部・教授)

錯綜する〈男らしさ〉のポリティクス —プロ・フェミニスト男性運動の可能性と課題—



今日の日本におけるジェンダー・ポリティクスは、単に男女平等に賛成か反対かという単純なレベルを超えて、男性差別や男性の不利を主張する言説の台頭、同性内格差をめぐる議論の高まり、「ジェンダーの正義」とは何かといった根本的な問いかけなど、複雑な様相を呈している。本報告では、こうしたジェンダー・ポリティクスの錯綜状況に対する男性たちの反応として、国内外における男性運動と男性学の様々な流れの見取り図を示し、それぞれのポリティカルなスタンスについて検討を加える。そして、女性への暴力撲滅に男性主体で取り組む世界的啓発運動である「ホワイトリボンキャンペーン」を事例に取り上げ、プロ・フェミニスト(フェミニズムに共感的な男性の)男性運動の可能性と課題について考える。

ふるってご参加ください。予約は不要です。

◆講師紹介◆

専門は教育社会学、男性学。一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表。著書に『男子問題の時代?—錯綜するジェンダーと教育のポリティクス』(学文社、2016)、『男性の非暴力宣言』(岩波書店、2015、共著)、『揺らぐサラリーマン生活』(ミネルヴァ書房、2011、編著)、『男らしさの社会学』(世界思想社、2006)、『男性のジェンダー形成』(東洋館出版社、2001)など。

- 司会：山田哲也さん(本学社会学研究科教授)
- 場所：一橋大学東キャンパス、マーキュリータワー4階 3406室
- 連絡先：ジェンダー社会科学研究センター cgrass@soc.hit-u.ac.jp